京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一部金三錢 ▲一ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金一圓八十錢 ▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢 ▲特別廣告七十錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久時一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

獨逸と殖民地（四）

ケーオー生

命令權の配布

獨逸保護領地法第一條に基づく皇帝の命令權は法律と同樣の効力を有する獨立命令權であるが、此外に保護領地法の各條項に規定で各種の事項に付て命令權を付與してある、此命令權はつまり殖民地に施行せらるゝ法律に除外例を規定せしむるためのものである、例へば殖民地には帝國民法刑法を施行すと云ふ場合に、命令を以て土人には特別の立法をなさしむる場合で保護領地法第四條に規定されてある。

皇帝の命令權は、帝國宰相及殖民地官吏に委任が出來る、例へば租税徵收の方法を殖民地總督に委任し、土人の司法上の立法を帝國宰相に委任すとが如きである、帝國宰相は皇帝の委任の外に保護領地法に依り直接に命令權を與へられて居る、其主なるものは保護領地法第十五條に帝國宰相は法律を施行する爲め及警察上行政上に命令を發する事を得、其違犯者を三箇月以内の禁錮に處することを得と云ふのである、此命令權は又同條の規定に依り殖民地の司法行政の官吏に委任することが出來る。

命令權の制限

命令權の制限は行政上のものと司法上のものとがある

（イ）行政上の制限に一宗教二財政の二點が存してをる

宗教上の制限は保護領地法第十四條に規定してあるので、其要領は母國の法律で公認した宗教團体に關して居るものが、殖民地に於ても母國同樣に信仰及び宣布に關し自由を認めらるゝ命令權で左右出來ぬと云ふのである、此條は保護領地法制定の際に、法律原案には缺如して居つたが、議會の中央黨員グンベーン氏より提出して挿入することになつたのである。

財政に關しては殖民地豫算に付一大制限を加へてをる、之は一八九二年三月三十日の殖民地の歲出入に關する法律と云ふので規定してをる（此法律は明治四十一年に多少の改正をなせり）法律の内容は第一條で殖民地豫算として作製し會計年度始め當法律として確定す（獨逸にては豫算は法律なり）とあり て、殖民地豫算は聯邦參事院獨逸帝國議會の協贊を要するのである。第四條には殖民地の爲めに公債を起し又は保證を引受くることを要する場合法律に依るとして、之亦前同樣の協贊を必要とする、第五條には殖民地の行政上生じた、債務に該殖民地の財政を以て責に任ずとありて、此規定により獨逸各殖民地は財產法上の獨立主体となり、財產を所有し債務を負擔することを得、帝國金庫の外に殖民地金庫を有する樣になつて、會計法上獨立したのである（此項未完）

沈降するのである。

●肺結核豫防（三）

贊化病院 河野作藏

▲結核菌の抵抗力（續）

第七消毒藥に對する抵抗力は如何と云ふに二十倍の石炭酸水に三十秒間白倍の石炭酸水に一分間千倍の昇汞水に十分間無水酒精に五分間で死するのである是れは純粹培養をなせる結核菌に於けるものであるが痰に混せる結核菌は直接、消毒藥に觸れざる故著しく抵抗力强大なるものである是も痰の性質によるが其新しく且つ濃厚なるものは尤も抵抗力强く五百倍の昇汞水を二十四時間二十倍の石炭酸水を二時間働かしても死なぬので先づ二十倍の石炭酸水を二十時間働かして初めて死するのである故に頗る注意すべきことである痰の消毒には昇汞水は長時間を要し且つ不確實なるがゆへに石炭酸水を撰ぶ事である。

以上の如き結核菌は戰鬪力を有して居るが敵が是より如何なる作戰計畫を以て人生を襲擊するか吾人は又如何なる奇謀妙策を用ひてこれと干戈を交へ之を撲滅するか次に追々述べん。

▲肺結核の傳染

結核は如何にして人体内に入るか前述への如く一人の患者が一日に七十二億の結核菌を吐き出すとすれば其結核菌は如何なる運命を取るかを研究すれば傳染狀況も以て判然するのである第一肺結核患者の痰は濕て居る間は危險でないが乾燥すれば塵埃と共に空中を游遊するものなるゆへ危險なるものであるが世界到る處に瀰漫しつゝあるものではない風なければ一定の定量で

外事一束

▲落着 墨西哥大統領ヂアス氏愈々議會に辭表を提出し議會直ちに承諾す。

▲後任 墨國大統領後任はマデロ氏首府入京の上にて撰擧なす事となれり。

▲臨時 墨國大統領として、デラバラー氏選擧せられヂ氏辭職國内に被發表。

▲回復 ヂ氏辭職墨國内に知れ渡るや國内全く叛亂を絕ち秩序全く回復す。

▲墨國 臨時大統領は此際速に總選擧を行ふの意を發表自身は立候補を辭退。

▲退隠 前大統領ヂアス氏は家族と共に墨都を去りたり目的地西班牙なり。

▲人口 英國政府調査によれば倫敦の人口は四百八十一萬九千六百十八也。

▲勅任 巴里電報は佛國第六軍團長ボワラン將軍陸軍卿に新任の由を傳ふ。

▲戰況 佛國の摩國遠征軍は土民軍と衝突少將以下八十餘名の死者を出す。

▲確定 獨逸議會は終にエルサス、ロートリンゲン州憲法案を可決確定す。

▲英國 内相空中飛行取締法案を議會に提出す戴冠式當日混雜豫防の爲也。

▲葬儀 飛行機椿事の爲無慘の最期を遂げし佛國前陸相葬儀壯嚴に執れ濟。

▲露國 陸相二十六日哈爾賓來着同日出發[illegible]氏は烏港にて暹羅皇儲と會見。

▲復線 東清鐵道は烏港ニコリスク間百二露里の間、複線工事の計畫中也。

▲倫敦 銅相場現物五十四磅十六志三片定期五十五磅七志六片不活潑なり。

▲米加 互惠條約修正案贊成者多く通過の見込ありタフト氏非常に苦心す。

●夜學校めぐり（一）

山村生

日本語が、國語と改名した今日、朝鮮人間に何程の研究者が在ましようなどゝ、ヌーボー式の事を持ち出せば、直樣、一口噺の材料だが、サレバとて何な答辯を引き受けてやらうと云ふ程の氣狂れ者も多くはあるまい。學務局に問ひ合せ、道廳に尋ねなどして見たが、何だか、昨年の暦を見る樣な返答ばかりだ。

ソコデ大勇猛心を蓄つて學校廻りを企てたが、マア暫し、兎角世の中の裏相は、表門、玄關にあらずして勝手口、裏門に表はるゝものなりと、破笠で追ひ出されか覺悟如たる悟りをした

第一夜 光成學校

「葉櫻や花にいとひし風も好し」と夕風袖を揮はせてブラリと來たのは、南大門内の光成學校である此の學校は、十六年前から創立して居る夜學校で恐らく、京城第一の古い學校だろう。丁度算術を教つて、日語を初める所へ行き會せた、生徒は、僅に十三名である鮮人の教師が巧みに、日語を以て國語讀本を譯釋して居る。

事務員の話しに、本校は學生も少なく經費も足らぬから再三廢校しようとしたけれ共、其都度、卒業生等が盡力して呉れて今日まで繼いて居りますと語つた。

文苑

○元良哈の野（三）

碌々庵

五日の月を中より切斷して、黑雲で纒て、其の上に、撂り拾いたる明星を二つ並べて打ち込みしとも見ゆ兜下から、涙の雫が二ツ三ツ落ちて、朝露の如く草花を濡す。

折柄、丘の上で馬の嘶くのが聞こね、其の後は蹄の音となりて、かすかに消えて行く。

やがて、落日つき去れば、幾千の星がチラチラと、またゝきつゝ現はたるゝ何でも多数の人馬の音が沈默の空に聞こゆるやうだ。

満正は六月二日生擒したる二王子を京城まで送還したと、歷史は知らせる。

召使れ初

第六十六回

黑法師

德兵衛が家に歸りたるは、その日の夕暮なりき

佐十郞は喪家の犬の如く後に從ふ

「若旦那樣御遠慮に及びませぬ、町人ではござりまするも、何れは親類れ交際を願はねばならぬ間、私御預り申すから、決して御不自由は爲せませぬ、これ家内へれ歸りの思召で、何日までもれ心安く御逗留なさせませ」

これ德兵衛が座へ通りての挨拶なり、佐十郞は痛み入りて

「我等男と生れて、男らしき働き爲せず、これ程の年齢となつて、其許の厄介に相成る、什麼とも面目次第ござらぬ、然し、我等にも魂ある。只今では妹れ道に先を越されて、何甲斐もなう世を送れど、一たび風雲の機會に逢へは、一かど人間となつて見せる」

「偶うござりませうとも、何ぞ御器量優れさせた若旦那樣、將來御出世は見ねて居ります、私どもが見る影も無い者のが、た注意申し上げるに及びませぬも、人は品行が第一、身持一つで身の光りを消すこともござります、今までの事は捨て置き、是からはれ身持をよう遊はされねばなりませぬ、れ身持がよく爲れば、自然と人の用ひも善くなり人の用ひが善くなれば御器量も自然現はれます」

「注意身に泌みて聞くと佐十郞は悄然として「今になつて辨解らしう云ふでは無いが、我等とて孝道を忘れたでもなく微塵も無い心に兩親大恩忘却致さねされど、性質不運、焦思ば焦思るほど出世の道に遠ざかつて、只今では天道に對しても辨解無い仕儀、斯くの仕合、」

「まてと天道[illegible]ちや「氣を長うなされませ、夏にも冬にも櫻の花の咲かぬ限りは、時節を待つ外致し方ござりませぬで、私方に御滯在まづ御兩親樣へ御安心を爲させませ、諸所へれ出入、た蔭樣でれ曆々衆へれ目通りも致す身その中には御推擧の機もあらうかと心得ます」

「萬事を賴む、平に賴む」

「うれに付けても、申し上げ置かねばならぬは傳德右衛門事でござります、先般あなた樣へ對し不禮の仕方、定めて御立腹ともござりませうが、以後を心得、後悔の樣子も見えますで私からもれ詫び、幾重にもれ許可の儀を賴み上げるでござります」

「いや、其事は心配致すな、德右衛門が惡いで無く、拙者が惡いのぢや、什麼とも恐縮、平に恕せ」

「左樣に仰せ下さりまするとき、德兵衛穴へでも入りたうござります、恰ど刻限、れ夕飯をさし上げまする、緩々御休息なされませ」

「御作を掛けて相濟まぬの」

「れ詞痛み入ります、暫くれ待ち下さりませ」

德兵衛は次へ立つ、入り違れて天目茶碗に茶を運び來りしはれ察なり、佐十郞の顏を一目見るより驚いて

「あなた正木樣でござりませぬか」

「とゝ此方は」

「先年御恩を受けた察でござります」

「思ひ掛けぬ對面、れ手前も當家にれ[illegible]ちやの」

「德兵衛殿恩館の下に、安く月日を送り居るでござります」とれ察は嬉しげ、視上げて、「先日以來何はされ行方をれ搜し申したか知れませぬ」

東京電報（卅一日發）

▲政務總監の報告 山縣政務總監は昨三十日桂首相、柴田拓殖局總裁を訪問し總督府の現狀を報告せり

▲政務總監參内 山縣政務總監は三十日午前十一時參内、天皇陛下に拜謁仰付られ朝鮮の近狀に關し委曲伏奏せり

▲濟生會設立申請 桂公は個人の資格を以て濟生會の設立、付昨三十日内務省に申請同時に設立認可されたり

▲外事總長後任 關東都督府外事總長大内丑之助氏は本職を命ぜられ參事官西村源太郎氏其後任となれり

▲萬國結核會議委員 來る十月羅馬に於て開かるべき第七回萬國結核會議に派遣する委員は農科大學教授獸醫學博士藤原仙之助氏決せり

▲伏見宮御乘艦 伏見若宮博恭王殿下には本日横濱に碇泊中なる朝日に御乘艦艦長の職務を執らせらる

▲銀行重役任命 六月一日付を以て左の如く辭令交附さる

日本銀行總裁男爵 松尾臣善
依願日本銀行總裁免せらる
日本銀行副總裁男爵 高橋是清
日本銀行總裁仰付らる
正金銀行頭取 高橋是清
依願正金銀行頭取免せらる
子爵 三島彌太郎
正金銀行頭取仰付らる
海外駐在財務官
正四位勳二等法學博士 水町袈裟六
日本銀行副總裁仰付らる

▲通商局長兼任 外務次官石井菊次郎氏は通商局長兼任を命ぜられたり

▲臺灣鼠疫と患者數 臺灣のペスト患者は發生以來三百名に達せり

▲墨國新内閣員 本日墨西哥堀日代理公使よりの公電に依れば墨國大統領就職新内閣組織されたるが閣員の多數は革命黨員にして外相はバルラ氏兼任したり

▲ディアス氏歐州行 墨國前大統領ディアズ氏は視察の目的にて歐洲に向け出發せり

雜報

●慶尚北道窮狀

今や地方は出穀期過ぎて今や麥の刈入季迄は一般に穀物に不足を告げることは毎年の例なるも本年は各地方とも穀物の缺乏すること特に甚だしく今や咸鏡南道の如き既に飢饉の狀態に陥りつゝあるが聞く所に依れば慶尚北道に於ても星州を中心として知禮南鹽開寧地方は昨今下層民の常用に充つべき穀物は皆無にして彼等は實に木葉雜草を食して僅かに露命を保つ有樣にして悲慘の狀見るに忍びざるものあり道廳にては救濟方法を講究中にして一面に於て所在官憲をして窮民の數及其現狀を調査せしめつゝあり

●棉花栽培の獎勵

棉花栽培事業は近日成立すべき棉花會社の大規模なる計劃を始めとし其他各種の方面にて之れが栽培着手せんとするもの少なからざるが當局にては更に獎勵發達せしむるの方針に決し多分來年度より一定の金額を定めて出業者に補助金を下付すべし而して之れが金額は東洋拓殖會社にも協議したる上方法等決定すべしとの事なり

●各道授産計劃（五）―平安南道―

▲授産の一般方針 同道管内は兩班儒生の數極めて少く随て是等の者に對して特に授産の必要を感ずるもの稀なる爲め要旨の存する處を推し恒産なき貧民に對し授産及事業補助の方法を定め受産者の撰擇は日常人民に直接する府尹郡守をして之に當らしめ道に於て之が監督を行ふ等なり而して其事業は養蠶機業改良漁法の傳習及び桑樹苗圃等の施設とす

▲養蠶傳習所 は最も適當なる地方八ヶ所に設け官有家屋を以て之に充つ其組織は經費の許す範圍に於て日本人若くは朝鮮人教師及通譯兼書記を置き附屬桑園を設置す傳習期間は六ヶ月とし解餘の期間は傳習教師をして郡内を巡回せしめ屑物異綿等の整理桑園の手入並に次年度の計劃等に就き實地指導せしむ收容生徒は十八歲以上の男子若くは女子にして其總數七十九名とす而して修了後は蠶具及製糸器を無代給與し又桑苗を配付し永久に恒産を享有すべき計を爲さしむ

▲機業傳習所 教師は朝鮮婦人を採用し機織器及附屬器を備へ專ら機織の傳習に從事せしむ而して其設置地點は從來盛んに木綿を産出せる龍岡郡を撰定し木綿綾等、朝鮮人向織物を主とせり傳習期間は九月より二月迄六ヶ月間とし期間外は卒業生の家に就き實地指導を行ふ生徒は毎年十五名とし滿十八歲以上の女子のみとす修業後は機臺一組を給與し永く機業を營む事を得せしむ

▲漁法の改良傳習 同道沿海は延長百三十八海里に亘れる魚族豐富にして無限の遺利あるも沿海の土人分布は一海里僅かに十六人にして一ヶ年一人の收得二十五圓内外に過ぎず從つて之を内地人出漁者の收穫高百五十圓乃至二百圓に比較する時は如何に其漁法が幼稚なるか察知し得べし故に先づ漁具の製作法を教授し又漁業の小團體を組織せしめ改良漁法の傳習と共に之に適應せる漁具材料を給與し授産の途を講ず

▲其他の施設 又蠶業獎勵の一法として近時養蠶熱の勃興せる地方に恩賜桑園を設け又其栽培法を教へ又樹苗圃を設けて白楊アカシヤ櫟栗等の苗木を養成し恒産なき人民に付與すべし

▲府郡共同事業 管内二府十七郡の共同事業として農林養蠶の二巡回教師を常設し授産事業の統一指導を爲さしむる外受産者に保護及資金原料の需給並産品の共同販賣を爲さしめ各府郡所屬教師と相待つて授産の遂行上遺算なからん事を期す

●第二回移民申込

東洋拓殖會社の第二回移民は申込期限の六月末日なるも諸般手續改正のため遲れ勝ちなる模樣にて其募集定員千戶の豫定なるも今日の所にては約半數近百戶位の申込に過ぎざる由なるが期限内には豫定よりも增加するは必然ならんとの事なり

●仁川起工式順序

仁川築港起工式舉行に就ては既に當日即ち六月十一日早朝寺内總督荒井度支部長官阪出技師等一行仁川着直ちに起工式場に臨み踏錢の報告あり後地鎮祭を行ひ築港沈礎の式を舉ぐる豫定に付右兩式場には一般の入場を許さゞる由にて沈礎式舉行の際は沈礎用船より合圖と共に煙花五發を打揚げ之につゞいて陸上の各工場及び碇泊船は一齊に汽笛を鳴して祝意を表し午前十一時日本公園にて會員及來賓招待の大宴會開かれ會場にて岩崎仁川民長の式辭來賓の祝辭演說等あり最後に仁川府尹の發聲にて總督の萬歲を三唱し而して模擬店開始をなして閉會を告ぐる順序なりといふ

●ホップと麥芽 朝鮮は有望地

上野藥學博士談片

吾等が常に好むで飲用しつゝある麥酒は麥芽とホップを原料として製するのだ處で其麥芽の原料たる大麥は朝鮮に最も適當の産物であつて現に東山村非興業會社の諸農場及順天公州密陽羅州等の金融組合に栽培を委託した結果によると孰れも有望の成績を示し此有樣を以て進捗せんか年々六十萬乃至八十万圓の輸入麥芽を拒ぐ事が出來ると思ふ更にホップも試作を依托し、は難なく水原勸業模範場に試作を托し尚ほ未知數の理に在るも若し其成績佳良なるを得んか是亦年々二三十萬圓、外國輸入を防退する事が出來る而して其二原料が朝鮮に於て生産し得る事確實なるに到らば豈に啻に吾國麥酒界の一大福音たるのみならず朝鮮開發上洵に喜ぶ可き所以である

●分工場の設立期

始めは吾が日本麥酒會社にては朝鮮に分工場を設くべく計劃せしが時尚ほ利あらざる爲め一時見合せて居つた然るに以上二原料の試作成績の確實に有望なりと保證し得らるゝに於ては愈々一大分工場を設くる事となり、元來麥酒は新鮮なるを賞味するのだ故に朝鮮に分工場が設けられたる曉は彼の瓶詰杯を飲む必要なく出來たての新しいのを仰する事が出來る是れ需給兩者に取りて何よりの滿足と謂ふ可しだ

▲論者或は曰く 縱令其原料が朝鮮に出來るとしても到底外國品の良質なるには及ぶまい斯かるものを漫然奬勵して醸造に供した處が結句麥酒の品位を損するのみであろう故に原料は依然外國から仰いでも差閊へ無いではないかと然れども斯んな心配は毫頭無要だ現に千九百年の巴里博覽會でも又最近の日英博覽會でも吾社品のサッポロアサヒエビスは孰れも優等の鑑賞を與へられ名譽大賞牌を得たではないか既に世界に遜色なき保證を得且又原料が自國で出來るといふ以上は大に奬勵するこそ産業政策上最も適切の處置である況んや吾が新領土たる朝鮮に於て有望なる成績を示しつゝあるに於てをやだ

●寄附募集取締令

總督府にては寄附金品募集に關する取締規則を定むべく目下立案中なり

●警察制服の改正

現行警察官制服は舊式にして其の漫りに新劇の增加の如きは其威嚴を損する上に扮用せらるゝが如き總督府にては近く之が改正を爲さんと調査中なり

●平安南道内地人農事

平安南道警察部の調査によれば去る三月末日現在の内地人農事經營者は合計四十六名にして内平壤一十一名鎮南浦十六名安州順川价岡各郡二名宛江西順安中和各一名を算し其經營地總面積二千二十九町十六畝、小作千三百八十三町六反十畝、耕作地自作九町九反六畝小作人數千三百三十三人内鮮人九百七十八人内地人四十六人外國人九名なるが耕作地面積の一口最狹二反最廣九百町歩一口最狹二反最廣五百五十町にして米、粟、野菜、大豆、桑、果樹、林、煙草及び桑等を耕作するもの最

●永宗島の蟶養殖

京畿道沿岸は由來蟶の産出地なるが就中江華永宗の兩島沿岸は甚だ豐富なりしも一昨年頃より該蟶の干貝が淸國に輸出するため買入れに來るもの多き結果濫獲の姿となり昨今にては之れが蕃殖の計をなさゞれば遂に絕滅するに至るも測られざるのみならず京畿道沿岸の富源を放擲するに均しければとて京畿道廳にては今回其蕃殖場を永宗島に設置する事となり同島約一哩の沖合なる干潟地二千五百坪に去る十五日蟶種の種貝を放殖せりと云ふ

●漢江巡邏船到着

漢江を航行する淺吃水の石油發動機裝置の巡邏船は昨三十日仁川より龍山に始めて到着したるを以て明石憲兵司令官は三十一日午前八時龍山川中佐及中野警務官と

▲人さまざま▼（四十四）

鈴木重民君

君は茨城縣の人だ、道が筑波山下に人と成つた丈けあつて凜然たる其風貌、一種犯すべからざるの概がある、而ふして彼の鐘馗樣のやうな恐ろしい風彩が、北部の警察署長として特振つて居るとや無いか、雖に西部警察署長たりし時、新拜命の一巡查が君の留守宅を視つて折箱を贈呈し將來の御引立を御願して歸つた、後で此事を聞いた君烈火の如く怒つて此卑劣漢奴が、ト、翌朝早速署長室に其巡查を喚び出し、折箱を投げ付けて大勢の部下の見せしめに散々叱りかり飛ばした事がある、君は警察官中で一番の漢學者だ、又武骨一片水戸つぽである丈に角捕々たる警察界で一異彩たるを失はぬ

●檜垣道長官出張

檜垣道長官は明一日午前九時出發管内巡視の途に上る筈なるが往復約一週間乃至十日の豫定にて一旦歸廳後更に第二回巡視の途に上るべしと云ふ

●中村課長の出張

中村農務課長は忠淸全北方面農事視察の目的を以て約二週間の豫定にて卅一日山崎技手を隨へ出張せり

●第二分隊の射擊

京城第二分隊にては六月一日午前七時より獎忠壇射擊場に於て射擊演習を行ふ由なり

●鴨江監視現況

鼠疫流行の際特設したる鴨綠江沿岸の監視部は解氷期大に之を縮少せり然れども山東省方面は尚は多少の危險地として警戒を要すべきにより海岸に臨める地域のみ依然憲兵巡查を配置し入江戎克船の取締を爲さしめ居れりと

●府廳の小作人召集

國有地改定小作料實地に關して小作人間に誤解する者ある由なれば京城府廳に於ては今三十一日午前十一時より關係部の面長、小作人を府廳に召集して實施の主旨を說明し改定小作料額を公示すべしと云ふ

●釜山より（三十日發）

●藤波通譯官の歸任 原氏一行見送の爲め釜山まで出張したる藤波通譯官は三十日夜歸京したり

◎耆老所班恩賜金費途たる釜山の授産場は既報の如く東萊に機業傳習所の設置となり鮮人の授業希望者中選回以二十一名を撰定し七月一日より開始に決し候

◎元來草梁に在る鮮人の從來經營せる一ヶ所と東萊との二ヶ所なりしが草梁の分は餘りに規模狹小なりとて東萊のみ極りたるもの有之候

◎釜山鎭大埋築四萬坪は後藤猛太郎伯の手より早川組に權利を讓り渡し而かも價格二十五萬圓と聞及びしが又もや其權利轉讓されて神戶の富豪にして女傑との名高き佐藤サト子と云ふ人に渡りたりとの事、果して然らば價額何程かを知りたく候

●各地の工事狀況

韓國銀行調査に係る最近の各地の工事狀況を記せば左の如し

▲群山 同地の監獄署工事は七千餘圓の資金を投じ目下漸々作業中なり其他各地金融組合の倉庫も建築盛んにして一面水産組合の工事續々起工さるゝを以て同地の人氣引立ち工事界は活況を呈せり

▲羅南 陸軍側の建築續行せられつゝあり未だ大工事を開始するに至らず今尚は沈の裏にあり

▲元山 同地建設線路測量中にして未だ起工に至らず一般の建築工事は昨今漸く開始されつゝありて雖も市街道路の修理工事を除くの外目するものなし

▲城津 四月初めより甲山街道の測量に取懸りたるも更らに北青街道並に他の一兩より三班となりて從來中より尚は稅關突堤工事は六月始めに竣成の豫定にして小學校、郵便局等の建築工事其の他の工事勃興し盛況を極めつゝあり

▲平壤 京義線改修工事平元道路の竣了、線路に關して研究中なる期に當るを以て各地の工事盛んなり

▲仁川 稅關内鐵道引込線は着々工事進行しつゝあるも一般工事界は閑

●京城手形交換高

五月卅一日	金高	枚數
公人 私人	三五一、三七〇、一四〇	五四三

▲今村繁三（今村銀行支配人）三十日釜山へ

▲吉本政藏（大邱模範場技師）同[illegible]へ

▲谷川金一郎（鎮南浦警察署長）同日入京自邸へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（三十日分）	乘車客	七五二	下車客	八九二
貨物賃金	一、二七二、五八			
▲南大門驛貨物發着高（三十日分）	發送	五九噸	到着	四〇七噸
貨物賃金	九九二、一九			
▲龍山驛乘降客（三十日分）	乘車客	二三四	下車客	二二七
貨物賃金	二七一、七五			
▲龍山驛貨物發着高（三十日分）	發送	一〇噸	到着	一二八噸
貨物賃金	三〇、三九			

内地巡禮日記（四）

水浪生

五月四日、今朝京城より數通の書信に接す、書中記するところは何れも出發後の余に關する京城一流の風說を寫したものだ、アー風說は風說としてソレを傳へしめよ、併し余は今度こそ云々（奇想天外的に）度く信ずるに足らざるものなることを知つた、ソウして此信據するに足らざる風說を土臺にして喜憂を感ずるの實に謂れなきことを悟つた。

一書中明石元二郎君に關する記事あり、日く明石君最近に於て元警務總監の小道楽なる者に雜誌を發行せしめ、而して該雜誌に余に關する誣妄の記事を掲載せしめ且つ京城の各戶に無代配付をさしめつゝありと。余は右の記事を讀んで始めは異樣に感じた、併しつくづく考ふるに及び余は明石君の人格を知る、明君が斯る卑劣なる眞似をすることを信じない。序に記すが、警務總長として新聞紙を取締る明石君が、余と大鐵只ならざる間柄にあることは余が警鮑として……互に相感して居る。

元はと云へば余が爲に余を君は余の獎めからで、……するの勞を採りしのみ。……贈る將軍齋の菜根譚一部を贈らる、菜根譚は明の洪自誠の著で東洋士人處世の大本を誤へたものだ、明石君と余との私交は右の通りだ、而して何を苦んでか明石君が市井の一書生を使嗾し之に雜誌を發行せしめて余を陥れんとするの計畫を爲すべき、明石君は輕擧に於い、余の先覺者でもある。然り此先覺者をして余に關する事より假令一時なりとも俗物の如く世人をして思はしむることは余の忍びざるところである、故に序を以て茲に掲じて置くのである。

本日早稻田の大伯の元氣の良いのに敬服す、日本國中此大伯は……特別慇遇に米人、來客として余許を得、此室に入る丁度其時伯は朝鮮に於ける我皇室と臣民との歷史的關係を說いて居られた、余を顧みて客なる米人に余を紹介した、伯は繼いで談話は朝鮮に於ける門戶開放、耶蘇教の傳道其他種々の問題に及んだ、大伯は我朝鮮經營、然り進んで大陸經營が門戶開放主義に基けるものなることを說かれ、米人は勿論諸外國人が朝鮮に於ては安心して各方面に從業するの可なることを說かれた。時に米人の口から即決例問題に關する話が出た、即決例問題、米人は米人として解釋をして居る、併し納まりはドウなのろうか、いゝいゝ、茲に余は即決例に關して多くを書くの餘白を有せぬ。

▲茶袋▼

七年前露國陸相クロパトキンが極東に遊んだ末旅順に至りアレキセーフ等と會議として間もなく日露戰爭の開幕となつた▲ところが此頃現露國陸相東遊東淸鐵道副總裁や沿海州總督杯が烏港に集めて秘密會議を開くそうな、問題は何であるか、透觀を有せぬ吾輩が之を知ることを得ないか、蓋し尋常の事として見世凱を起して相機に參せしめようとする者が漸く多きを加へた樣だ、今や米國の對淸策は他の强國を壓廹し、淸國亦之を利便とする傾きがある、想ふに烏港に於て陸相等の秘密會も或はコヽ等に關聯したものではなからうか▲淸國政府は老ひたり、彼には到底淸國新政の重責を負ふの氣慨がない、此時に方つて袁世凱が起つて縱横の其腕を揮ふも亦一興であろうか▲東拓の副業栽培の土地は臺灣の製糖業と衝突するから、其筋の請によつて中止する事となつたとは、東拓それ自身のゴ吹聽であるか、東拓の蔬菜事業到底成功の見込が立たないから其筋から旨を含めての動機で以東拓を止めさせたのだと書いてをる、一体どつちが眞實なのか。

●遞信交換手の賞與 京城郵便局の電話交換手にして岩出ゆきは四十年三……五六名は……賞與を……三十日……

●釜山中學校修學旅行 長崎縣立島原中學校五年生四十二名は教諭品川蒼氏外……

……務勵精なりしが今回病氣のため辭職せり

▲相場電報（三十一日）

（明治町西村支店着電）（六月限）

▲大阪株式

▲京株 前場	五七、〇〇	五七、五〇
後場	九六、二〇〇	九七、二〇〇
▲鐘紡 同	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
▲株式 前場	一一〇、〇〇〇	一一五
▲同 直	一一、八〇〇〇	八九〇〇〇

▲仁川米豆取引

十 日 三十日前場 六月限 中 不申 ▲七月限 高二十三錢 最低十錢 ▲止 同 ▲後場 休會

多情多恨

京城藝妓の半生（廿三）　井門本店 權助

●井門本店の義太夫藝妓權助、彼れが權助い、取つた異名の因縁、格別大した故事も來歴もあるに非ず、一口飲つてホロリとなるや頴詠冷罵唇を衝いて出づる、時其時、苟も之れに反抗の氣勢を示さんか夫れこそ其の人の身の上の一大事とこそ成りにけれのであるが、夫れとて何にも理由もないのに激發する次第ではないと云ふ事を斷つて置く、斯うした女丈けに客によつて随る坐敷が面白い、素面の時は極めて氣輕な竹を割つた如な氣性である、產は東京四ッ谷で、本名を山田しづと云ひ當年二十四歳である、實母は清元延兼と云ふ師匠であつたのみか又義太夫と素人放れがして居たのだ、デ其の母の清元と、義太夫とを習つたが自身の趣味が義太夫に傾くので其の方を專門に師匠を取つて八歳から六年稽古をしたが何うで一度は本場の大阪で修業を爲ねば駄目だと云ふので其年の秋から國太夫さんを師匠に取つて一所懸命勉強した甲斐があつて十八の夏、國之助と云ふ名を貰たので東京へ歸つて淺草廣小路の東京亭で初目見!!夫れから後は席へも出れば家でも弟子を取つて無事に暮して居たのも暫時の間、自家の都合が面白くない所から十九の五月に信州は上田の大工町の稲葉と云ふ置家から人丸と云ふ極く人柄な宜しい名で『何うぞ宜しく』と左褄取る身となつた、話は變る、此の上田の土地の舊七月十三日に執行さるゝ氏神樣の大祭と云ふものは頗る盛んなもので藝妓は皋つて餘興に出る位だから上田の町はヒックリ反る樣な賑い其時權助の人丸も手古舞姿で金棒曳き牡丹に獅子い檜扇を胸に木遣りの聲も勇ましく練り行く途中背後から其の人丸い肩をポンと敲いたものがあつた、處所が場所柄ハッと振り返つた人丸の眼に映つたのは坐敷は勤めた事はないが、噂には聞いて居つた海野町に名高い養蠶家の島津武夫と云ふ好男子、ゾッとする程嬉しかつた人丸は思はずニッコリすると奴を顎でシャクシて眼の合圖、夫れ人丸、跡に人押し分けて立ち去つた。其の夜からしてモウ其の人が忘れられない人となつたが一方島津には立派な女房があるのだが人丸、然うなつてからと云ふもの島津は自家へ歸るは稀で夜毎其揚げ切りの駄々羅遊び三日に二度五日に三度は吃度自家から迎ひを受けると云ふ始末、さらば島津の妻君が醜婦とでも云ふのかと云へば然に非ず極めての美人で名は艶子さんと云ひ高等女學校まで卒業し夫れて温順貞淑と云ふ一點批難のない良妻、權助曰く緣は異なもの乙なものって奎へよと、良人の武夫君が夫れだのに艶子さん更らに妬かない斗りぢやない、時々人に依頼て小遣錢だの衣類だのを、人丸に贈つて來る、左樣されて見ると如何に藝妓稼業はして居ても人情に變りはない、イヤ左程した稼業をして居るもの程左樣した義理には强いもの、三度に一度は無理にも歸すことになるが鬼に角肝腎の武夫が一切夢中なのだから堪らない左樣云ふ風に爲れも程又逆上て來るので親御達から嚴しい意見があつたのを結局五月蠅事にして家の物の際々覗ひ現金千五百圓を掴み出し人丸に驅け落を迫つたのであつた。後は權助の口を藉て御披露するとする（つゞく）

●阿彌陀の眼を拔く

▽仁川本願寺の盗難　仁川寺町一丁目東本願寺僧侶東永元龍方同別院本堂へ三十一日午前二時より五時までの間何者か侵入し本堂備付の賽錢箱を打破り賽錢箱内の賽錢大約金十二圓位（但し賽錢は毎月三十一日開き勘定する毎月平均額なり）を窃取り逃走したる者あり今日の數當の板戸を開かんとして戸と戸との間に手を入れ挾ち開けんとせしも内側に鍵を掛けありしを以て果さず更に該戸を押揚げて敷居より外して堂内に侵入し堂内東の室に備付ありし檜厚板製縦二尺さ三尺高さ二尺余錠前抽斗付賽錢箱の下緣を除き之を西の室に運び該箱の下板を約一寸位離し錠前付の該抽斗を拔出し同別院境内の西方寢具置場に於て該抽斗を遺棄し賽錢全部を奪ひ逃走したるものなりと云ふ

●小笠原信雄の豫審終決

和歌山縣和歌山市舟大工町百二十二番士族元東洋拓殖株式會社出務見習笠原信雄（二四）が四十一年二月以來東拓に見習として事務部庶務係文書發送收受に從事中、榮山浦出張所より爲替金六千六百三十餘圓を送付し來りし銀行前後二回に亘り惡辣なる手段にて窃取したる事件は愈々三十一日豫審終決したり事件の内容及び其後の動靜、費消金額等は本紙に既報の通りに就き略す

女振り（六）

城六太郎君夫人　城しげ子

城六太郎君は熊本縣菊池郡の人で現に京城民團議員だ、右住居は明治町で貸家と命子麺遊業などを兼ねて居られる、しげ子さんも同縣同郡の出で六太君の夫人となられる迄は農事にいそしみて居られたのであると聞く、ナカ／＼理財の道に明るく暮し向き萬端眼が能くどいくから何うも女中が居着かぬと云ふ水清ければ魚棲まずの格であらう、何うで使はれるものが主人を讃美するのは少ないのは自然の數ではあるが然りとてツデなくしてツデない噂を立てられると云ふ事は苦痛なものだ、自他ともに注意すべき事である、我國風の脱けない極めて天眞爛漫なれ話し好きな方である、毎晩乾浴場の方へ足を向けて寢みには呪もわつたものだ

●藤井辯護士の詐欺

原籍岡山縣御津郡若井村大字東市井内三十八番地當時咸鏡北道鏡城府敷島町二丁目藤井太郎（三三）は昨年三四月頃京城に於て辯護士なりしが鮮人を欺き一萬余圓の土地文券を騙取せんとせし事發覺したる爲め數ヶ月に渉り京城地方法院檢事局に於て犯罪捜査中辯護士の所情に依り犯罪未遂の爲め嘆願の結果示談せられ朝鮮にて辯護士を爲さぬ條件にて歸消す可き所は密かに濟州に至り東京地方裁判所屬の辯護士として開業爲したるが昨年九月二十日林セッ外一名より北野竹次郎に對して羅南三輪里に於ける共有地分割の訴訟事件を依頼され訴訟提起後依頼人に背き相手方と和解して數百圓を騙取したる事發覺し豫審終決し法律文部に於て五月三十日第一回公判の廷ある筈

●亞川子愈喚問さる

山道新町遊廓にて有名な娼樓井門樓主今弟雑誌『新半島』主幹山道亞川子は三十一日午後京城地方裁判所檢事廷に喚問せられし由事件の内容は追て詳報すべし

●洋服代金の横領

南大門通り二丁目下宿屋尾張屋止宿大分縣大分市大分町生れ諸術徹蔵（二一）は三十九年四月より大分本町洋服商奥田相四郎方に雇れ中洋服代金として取立たる金六四十余圓を横領消費し居逃げ來りしを捕はれ京城地方裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

●阿片吸飲者捕はる

仁川永華街第五〇號留王業授（三三）同所劉安居（五四）は三十日午後三時同自宅に於て阿片吸飲中を折から巡回中の警官に認められ告發せらる

●煙草泥棒

住所不定申光天（十七）は五月二十七日午後九時頃本町三丁目道路に於て本町六丁目藤富商店雇人白成甫が荷車の上に積み置きし卷煙草一箱を窃取し直ちに取押へられしが三十一日檢事局へ送らる

●煙草パークの抽籤

太郎前之園煙草工場にては二月以來自家製造の卷煙草愛國パーク鹿兒島の二種を景品付にて發賣し居るが卅日當地本願寺に於て有志及新聞社員多數立會の上抽籤せり委細は廣告欄に付見らる可し

●拾得

仁川山根町一丁目壬生文彦は一昨三十日午後四時頃山根町穴門通に於て金四十五錢拾得し届出づ

●演藝だより

●浪花館　浪花節若圓一座一日の語物　三國一薮井玄伊（日本軒雲龍）人情裁判梅山大佐（東洋軒三笠）血氣傳義俠

東京支局設置

本社は今回業務の擴張を圖らんが爲め本社支局を左記の地に設置仕候に付何卒本社同樣御引立相成度謹告仕候也

東京市京橋區南佐柄木町七番地

京城新報社支局

支局主任　木村邦吉

電話新橋八七二番

廓のうわさ

▲當座の曾我の家蝶太一派へ梅助君より贈りたる幟は非常に人目を引き候而して毎夜同座特等席に同樓の花形連を見受けざる事は稀に御座候れあるが故に舞臺引き締らず出し奴も其の方への外見を繕ふたゞ更らに感興を喚び起さず候との投書あり、左もあるべし然し乍ら同分機嫌して手合のことゝなれば其の足らぬ所を自然の喜劇御推下さるべく候▲萬千開の萬龍は一昨年もある枕が好きに喉由猥褻の惡いことかなとは少々の早合點なり其の枕、銘あり曰く床の間▲湯水席の笑太郎藤井辯護士濟州に於て公判に附せらるべしとの噂を聞いて曰く有罪になれば乾度控訴されるでしようから而したら京城へ回る而したら毎日差入れをするワと、御吹聽には及ばず、ドシ／＼遊ばさせらるべく候▲松葉の駒は此の暗盛んに洒臭い溜息つく／＼へ込んでる仔細と申すは、サア其の仔細と申すは半牛史には自狀すると申し候間れ預りと致候▲新町遊廓は井門の店の妻枝は郎雀君太鼓持ち其の功を奏し過ぎし遂に或粋士に身受けされましたが郎雀君妬りず顚末を報じ玉へと云ふ頗る不穏の投書に接し候郎雀が妬、理由こそ先づ聞きものに御座候（町雀）

錢、田沼凡傷、大和櫻義士面影（京山若圓）

▲…の局店の如きものである何んとか取締つて頂戴したい（浙興男）▲井日料理店の批評をされた方がある僕も一つ眞似て見たい清華亭井門有明の二亭は共に陽氣にして而して平民的なるが嬉しく食ひ樂しく廉を以て佳なり（眞似）▲京田初太郎氏が四十二才の厄除けとかにて六月一日何人を招くとかの出治世紀の日招く人も人なり招かるゝ人も人なり富田は富田なり何と冐社所感▲詮索御無用なり去つて田に耕れ（小僧）▲太平町の更料の支店の二階實にナッてないよ（きん太）▲大宅君に申す御投稿結構ながら餘りに長文なるを憾む希くば十七字詰六十行迄位に止まるを希望致し候以上の理由に依り御寄稿掲載の機會を得ず候次第なり（係）▲此の南市中撤水車が出來た一滌歩だ併し其の撒水に馴れない鮮人の事とて其醜態のヨタ／＼然たること其の木のチョロ／＼然たると相似たりですね（流行ハ）▲彼の人は偉いと云ふから會つて見ると唯の人だ彼の人は少々足りないと云ふ話しで見ると偉い人だ、酒を辛いと云ひつゝ飲む人もあれば菓子を甘つたるいと云ひつゝ食はぬ人もある而して何方も底此の範圍を出ざるべしだと思ふと間違つては居ないのだ、偉い不偉は到底が空つた（百合）▲今日此の頃の調子で暑くなつたら何の位暑くなるか知れたものではないア、ウンザリするな（肥大生）▲取り越し苦勞をするから猶は暑いのだ（小僧）

平民文庫

▲僕の郷里で豫審判事書記が辯護士の宅に出入して居たが後日夫れより大疑獄が起つた事がある當京城は各縣各地よりの移住者斗りであるから地方的關係上私人としての交際上出入する向もあらうが夫れにしても甚だ面白くない事だ醜聲の漏れぬ内に注意が肝要である（一工ム生）▲仁川の北條辯護士は依頼者に對し仲々親切であるのみか其の續々勝訴入分の敗訴二分と云ふ割合だ相なう仁川では先づ此の人であらう（能知生）▲中の新地は遊客に酒食を强ゆる默々て居れば食はない、イヤ食へない様なものまで持ち込む而して貪ること東部

労顕著なりしが今回病氣のため辭職せしが金一百二圓を賞與せられたり

京せり

中…十…名は…品川満氏外五六名に引率せられて三十日入

▲神戸電鐵
同	三三、一〇	三二、九〇
同	三三、〇〇	出來不申

▲大阪株式（明治町西村支店着電）（六月限）

鐘淵	九六、六〇	九七、二〇
紡績	九七、三〇	九七、四〇
東京	八五、五〇	八八、六〇
東株	八六、五〇	八九、〇〇

▲同直引　二一、八〇　二一、八〇

●三十一日前場五圓廿來不申●六月寄十七圓十八錢▲止二十六錢▲七月寄二…

●三十一日前…六月廿來不申▲七月寄十一圓二十錢▲高二十三錢▲最低十…

初夏の趣きと食道樂

新綠やうやく濃やかに自然の粧ひいよ〳〵麗はしく酒によろしくビール猶よく茶は又更に一段の風致あり上戶に下戶に取るものとして適せざる所なき今日此頃食道樂は例によりて移り更る季節に魁し萬事に趣を凝らし面目を一新し益々其本領を擧げ得たることの光榮と幸福を茲に謹て一般れ得意樣に御披露申上げ誠實の感謝を捧げ候顧れば開業以來茲に三年厚き御引立に依り赤兒も獨り步るきをなし得らるゝの齡に達し候當初乏しき經驗と微力を顧みず敢て時流に反し曾て其例を見ざる色氣禁制傲奢禁物と云ふ商賣柄になき大膽なる名乘りを擧げ利慾に惑はず權勢に諂らず毅然として同業者間に越立し別に門戶を開きたるは聊か期する處ありたるとは云へ今日の繁昌元より思ひ至らず窃かに前途を懸念したりしに天道人を殺さずの譬の通り幸にも世上の同情厚く斯る變屈の主人をも捨て給はず案外にも夜を日に繼での繁昌を極め一躍數多き老舖と並び稱せられ京城名物と迄歌はるゝに至り果ては酒道樂飯道樂鍋道樂と數多の道樂兄弟相繼いで起り候程の道樂と云ふ名を呼び物となる迄に至り候は一は時運の漸く眞面目に趣くに會したる僥倖たるも大方顧客の賜に非さるよりは斯る盛況を見る事能さる處に有之候されば今後は猶一層從來の方針を遂行し平素御高顧の萬一に酬ん事を期し候間何卒倍舊御愛顧御引立の程希上候

食道樂の特色

市の中央四通八達の便利の位置を占めしかも市中の喧噪を餘所に南山の風光を懷にしたる閑雅の別天地をなし居れり色氣禁制傲奢禁物を第一の掟とし老幼男女質素に心安く一日の御遊に適すべく殊に早朝よりしつらへ置ける風呂は衞生上御客樣每に新に仕立設備致し候一般料理の外壽司及うなぎは別に板場を設け新に內地より其途專門の料理人を呼寄せ一層盛んに如何なる多數の御注文も即時相調へ候準備いたし又高評を博したるアイスクリームは六月より相始め候

出前は殊に勉强し御便利を計可申道の遠近に問はず御注文の多少論せず汎速に御用相達し園遊會模擬店等は大に意匠を凝らし新趣向を案出し萬端拔目なき設備いたし候

但しアイスクリームの前出は遠方に限り五杯以上御注文願上候

京城壽町二丁目 食道樂 電話九四四番